

# 中期の整備目標

## ○安全・安心

### ■ 浸水の防除

- ✓ 重要な地区については、概ね5年間で、既往最大降雨に対応して浸水被害の最小化
- ✓ ハード整備については、概ね10年間で、
  - ・「重要地区については10分の1の降雨」に対する整備を行い、確実な安全度の向上
  - ・「それ以外の地区については5分の1の降雨（P）」に対する整備を行い、確実な安全度の向上
- ✓ 過去10年間に浸水被害が生じていない地区については整備の見送り

### ■ 地震対策

- ✓ 概ね5年以内に下水道が最低限有すべき機能を確保
- ✓ 概ね10年以内に下水道の基本的な機能を確保

### ■ 事故の未然防止対策

- ✓ 特に緊急性が高い管路について、5年以内に改築・更新を実施
- ✓ 管路管理計画に基づく、計画的な管路管理を確立

### ■ 公共用水域の水質保全

- ✓ 平成25年度までに中・小都市域においては、合流式下水道の改善を行い、未処理下水の放流を解消
- ✓ 水道水源地域等の早急に整備すべき地域の普及を概成
- ✓ 高度処理を緊急に推進すべき湖沼を重点化し、異臭味など水道水源の水質障害を解消

## ○暮らし

### ■ 公衆衛生の向上と生活環境の改善

- ✓ 人口集中地区等の早急に整備すべき地域の普及を概成

## ○環境

### ■ 公共用水域の水質保全

- ✓ 国家的重要水域である三大湾のうち代表的なベイエリアにおいて、赤潮や青潮の発生を抑制

### ■ 健全な水循環の再構築

- ✓ まちづくりと連携して進める水辺再生について地元の熱意が高く、支援体制が期待されるリーディングプロジェクトを選定
- ✓ 浸水対策や合流改善などが必要な地域では、雨水浸透を着実に実施

### ■ 資源循環、省エネルギー、未利用エネルギーの活用 [資源のみち委員会で別途検討中]

- ✓ 未利用エネルギーの活用の推進を図るため、下水汚泥のバイオマス分の利用率を約〇〇%に向上
- ✓ 主要な処理場のエネルギー自立率を約〇〇%まで向上

## ○施設活用

### ■ 施設活用、光ファイバー網の整備

- ✓ 地域の核となる一定規模以上の処理場において、施設空間の多目的活用を実施
- ✓ 多数の下水道施設を管理する地区や浸水常襲地区等において、下水道光ファイバー等IT技術を活用した下水道管理の高度化を実現
- ✓ 民間事業者による高速通信サービスを受けられない地域において、下水道光ファイバー等IT技術を活用した地域情報化を実現

水のみち

資源のみち

施設再生